

経済理論学会第58回大会 プログラム(訂正版)

2010年10月23日(土)・24日(日)

関西大学 経済学部

共通論題 社会経済システムの変革と政治経済学の課題
——日本は変わるか——

第1日： 午前の部 9時30分～12時10分

司会・コメンテーター

第1分科会 第6会場 C403 共通論題関連

福島大学
後藤康夫

兵庫県立大学
北野正一 農林牧漁の振興による内需拡大策

金沢大学
海野八尋

東京自治体問題研究所
東 洋 志 <新しい社会経済システム>をどう構想するか

北海学園大学
神山義治

京都大学
大西 広 問われているのは景気対策ではなく構造転換
——新自由主義に帰結したケインズ主義に警戒を——

兵庫県立大学
北野正一

第2分科会 第7会場 C404 恐慌と循環

富山大学
星野富一

東京大学・院
岩田佳久 クレマン・ジュグラーの景気循環論
——世界経済と学説史的位置付け——

中央大学
岩下有司

岐阜経済大学
高橋 勉 市場メカニズムと恐慌
——商品過剰説と資本過剰説との統合——

中央大学
松橋 透

桜美林大学
前畑雪彦 政策金利の成立メカニズムと世界恐慌の変容形態

中央大学
米田 貢

第3分科会 第4会場 C401 金融システムとアメリカ経済

法政大学
横内正雄

一橋大学
石倉雅男 金融システムの変容と内生的貨幣供給
——貸出債権の証券化を中心に——

大月短期大学
内藤敦之

東京大学・院
横川太郎 戦後アメリカ経済と資金運用者

日本大学・元
春田素夫

駒澤大学
姉齒 暁 アメリカ経済と消費者信用の位相

國學院栃木短大
秋山誠一

第4分科会 第5会場 C402 政治経済学の課題

中央大学
一井 昭

中央大学
鳥居伸好 現代資本主義における資本蓄積と経済格差

首都大学東京
宮川 彰

鹿児島国際大学
八尾信光 今日における社会経済学の課題

中央大学・名
鶴田満彦

第5分科会 第2会場 C203 価値・価格論

広島修道大学
亀崎澄夫

山口大学
植村高久 価格論の説得力

信州大学
青才高志

関西大学・元
野口 宏 情報財とサービス財の価値論

慶應義塾大学
北村洋基

第6分科会 **第8会場 C506** 書評分科会

北海道大学
岡部洋實

専修大学
清水真志 小幡道昭『経済原論——基礎と演習』東京大学出版会

学振特別研究員・前
塚本恭章 森岡孝二『強欲資本主義の時代とその終焉』桜井書店

静岡大学
小倉将志郎 福田泰雄『コーポレート・グローバリゼーションと地域主権』桜井書店

第7分科会 **第3会場 C205** 英語セッション I

横浜国立大学
萩原伸次郎

Problems of the Globalized Economy and Global Economic Crisis

Kang-Kook Lee (Ritsumeikan University), “The Political Economy of Global Imbalances and the Global Financial Crisis”

Alicia Puyana Mutis (FLACSO-Mexico), “MEXICO 1980-2009: The Paradoxes of a Globalized Economy”.

Pritam Singh (Oxford Brookes University), “Alternative Economic Perspectives on the Sustainability Implications of the Global Economic Crisis and the Spatial Shift in the Global Economy”.

第1日： 午後の部 13時10分～15時50分

第8分科会 **変更後会場 C206** 非物質的蓄積レジーム

大月短期大学
内藤敦之

四天王寺大学
中原隆幸 認知的蓄積体制と政治的なるもの
——象徴的媒介としての集合的遺産の認知をめぐって——

大阪産業大学
斉藤日出治

愛知大学・講
山本泰三 認知科学と現代の賃労働関係

関西大学
若森章孝

中央農業総研センター
須田文明 品質のコンヴェンションと評価のプラグマティズム
——実践共同体としてのワイン批評をめぐって——

大月短期大学
内藤敦之

第9分科会 **第2会場 C203** ジェンダー

弘前大学
鈴木和雄

長岡高専
佐藤公俊 ビアトリス・ウェブのフェミニズム

武蔵大学
船木恵子

法政大学・講
橋本美由紀 ジェンダー統計と福祉国家の政策
——無償労働評価との関連を中心に——

金沢大学
杉橋やよい

第10分科会 **変更後会場 C302** 成長と危機

横浜国立大学
植村博恭

阪南大学
西洋 制度階層性と調整の時間的相違を伴ったマクロ経済モデル

法政大学
佐藤良一

京都大学
佐々木啓明 カレツキアン・モデルにおける長期レジーム
——長期均衡は賃金主導型なのか利潤主導型なのか——

阪南大学
西洋

九州大学
稲富信博 イギリスの長期経済成長と経済危機

法政大学
河村哲二

第11分科会 変更後会場 C207 企業統治

駒澤大学
有井行夫

北海学園大学

河西 勝 公開会社の現代化

元日本道路公団
片桐幸雄

——法人金融・統治・課税の二大転換——

京都大学・院

福田 順 日本企業の配当政策と株主構成

九州大学
磯谷明德

第12分科会 変更後会場 C507 資本論研究

信州大学
青才高志

東北大学

大村 泉 マルクス資本回転論の論理構造

愛媛大学
赤間道夫

——エンゲルスによる『資本論』第2巻第2篇編集の根本問題——

岩手大学・名

早坂啓造 『資本論』第II部第3篇の構成をめぐって

愛媛大学
赤間道夫

——MEGA2II/13の編集を通して見えてきたもの——

法政大学・名

大谷禎之介 マルクスのmonied capitalという語はどこからきたのか

立教大学
大友敏明

第13分科会 変更後会場 経済学部会議室 社会主義

摂南大学
八木紀一郎

京都大学・院

中野嘉彦 社会主義への通過点論としての河上肇の株式会社論

摂南大学
八木紀一郎

一橋大学・院

関口修道 「社会的所有」とはなにか？

立命館大学・名
芦田文夫

大阪経済法科大学

山本広太郎 マルクス社会主義論の再検討

鹿児島国際大学
八尾信光

第14分科会 第3会場 C205 英語セッションII

リチャード・ウエストラ

On Michael Hudson's Super Imperialism Thesis

Thomas T. Sekine (formerly York University), "The Transition away from Capitalism: post-1914 World Economy".

John R Bell (ret. Seneca College, Toronto), "Uno-Sekine Approach to Contemporary Economy: Affinities with Hudson, Minsky".

特別講演 (16時00分~17時00分) 第1会場 F401

武蔵大学
横川信治

James Heintz (University of Massachusetts), "The Structure of Employment, Globalization, and Economic Crises: Rethinking Employment Policy for the Current Era".

会員総会 (17時10分~18時00分) 第1会場 F401

第1回経済理論学会奨励賞授与式 (18時00分~18時10分)

第1会場 F401

懇親会 (18時30分~20時30分)

関西大学100周年記念会館ホール

第2日： 午前の部 9時30分～12時10分

第15分科会 第2会場 C203 数理マルクス経済学

京都大学・院 田添篤史 最適成長モデルの枠組みを用いた資産配分の動態の分析

京都大学・院 劉 歆 人口成長、生産要素希少性および農業の集約化

獨協大学 山下裕歩 資本主義の発展段階と資産格差

京都大学
大西 広

獨協大学
山下裕歩

京都大学
大西 広

九州産業大学
関根順一

第16分科会 第6会場 C403 環境の政治経済学

立命館大学 藤岡 惇 帰りなん、いざ豊穡の大地へ
——『エコ社会経済学』の提唱——

東京大学・名 馬場宏二 過剰富裕化と資本主義の根源的危機

滋賀大学 梅澤直樹 環境問題への社会経済学的アプローチ
——水俣病から学ぶべきもの——

山形大学
鈴木 均

兵庫県立大学
北野正一

青森大学
戸塚茂雄

大阪産業大学
斉藤日出治

第17分科会 第5会場 C402 金融政策と景気対策

駒澤大学 瀬戸岡 紘 恐慌対策にケインズ主義回帰を期待することは反動である

竹内徹夫 景気対策としての減価型地域通貨と貨幣の諸機能

大月短期大学 内藤敦之 インフレーション目標政策論の批判的検討

中央大学
建部正義

福島大学
後藤康夫

埼玉大学
結城剛志

一橋大学
石倉雅男

第18分科会 第4会場 C401 労働過程

東京大学・院 阿部浩之 ケア領域の労働過程
——感情労働論の視座から——

横浜国立大学 土井日出夫 運輸労働と物神性

九州大学
稲富信博
学振特別研究員・前
塚本 恭章

中央大学
佐藤拓也

第19分科会 第3会場 C205 雇用と労働

兵庫県立大・院 松浦 章 ホワイトカラー労働者の長時間労働と「みなし労働時間制」
——損保産業の現場から——

基礎経済科学研究所 高田好章 製造業派遣にみる派遣労働者と派遣会社の実態

関西大学・院 中野裕史 (書評) 浪江巖『労働管理の基本構造』晃洋書房

九州産業大学
山田鋭夫

関西大学
森岡孝二

大阪経済大学
伊藤大一

第20分科会 第8会場 C506 変革と社会理論

大阪産業大学 斉藤日出治 経済学の言説と市民社会のヘゲモニー闘争

一橋大学・院 秋山道宏 現代における社会科学の展開とカール・マルクスの社会理論
——「カテゴリーの人格化」を観点とした土台・上部構造論の再検討——

大阪経済大学・講 武井博之 現代日本における「シャドウ・ワーク」の復権
——『資本論』等による変革主体形成の探求——

立命館大学
角田修一

関西大学
若森章孝

首都大学東京
宮川 彰

一橋大学
石倉雅男

共通論題 **第1会場** F401 第2日： 午後の部 13時10分～17時00分

社会経済システムの変革と政治経済学の課題
——日本は変わるか——

東京経済大学

長島誠一 グローバル資本蓄積の矛盾とエコロジカル社会主義

東京大学

小幡道昭 新たな資本主義の勃興と原理論の課題
——資本主義の多重起源説——

立命館大学

森岡真史 社会主義とは何であったか／何でありうるか
——科学・闘争・規範——

駒澤大学 九州大学 中央大学
運営委員： 姉齒 暁・磯谷明德・建部正義